

## 29年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 6月1日～ 29年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は4社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
入荷動向	スギ	△ 16.7	0.0	0.0
	ヒノキ	△ 25.0	0.0	0.0
	カラマツ	0.0	0.0	16.7
	トドマツ	25.0	25.0	0.0
消費動向	スギ	16.7	△ 16.7	△ 16.7
	ヒノキ	25.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	△ 16.7	0.0	16.7
	トドマツ	25.0	25.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 16.7	33.3	33.3
	ヒノキ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	25.0	0.0

・スギ及びヒノキ国産原木の入荷動向は、6月の減少が7月、8月は横ばいに。カラマツは6月、7月の横ばいが8月は増加に。トドマツは6月、7月の増加が8月は横ばいに。

・スギ及びヒノキの消費動向は、6月の増加が7月、8月は減少に。カラマツは6月の減少が7月は横ばい、8月は増加に。トドマツは6月、7月の増加が8月は横ばいに。

・スギの在庫動向は、6月の減少が7月、8月は増加に。ヒノキは3カ月連続で減少。カラマツは3カ月連続の横ばい推移。トドマツは6月の横ばいが7月は増加、8月は再び横ばいに。

## (2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	0.0	0.0	0.0
米マツ	50.0	50.0	△ 25.0
北洋カラマツ	25.0	25.0	25.0
その他	0.0	0.0	0.0

・スギ、ヒノキ及びカラマツ合板用原木の購入価格動向は、3カ月連続の保合いで推移。米マツは6月、7月の強含みが8月は弱含みに。北洋カラマツは強含み。その他は原木は保合いで推移。

## モニターからのコメント

(原木荷動き)

・構造用のフロア台板の生産増により、トドマツの消費量が増加（北海道）。  
・入荷、消費ともカラマツが増加（関東）  
・今後、雨の影響により入荷が減少すると思われる。市場材の購入を増加させ入荷を維持したい。在庫はキープしたいが、雨と暑さで伐採量が減少すると思われる（九州）。

(原木価格)

・合板用原木の購入価格は、国産材は横ばい、外材は強含み（北海道）。  
・ロシヤ材はかなりタイト感がり、価格も強気（関東）。  
・国産材スギ・ヒノキの相場は下がるかもしれないが、価格は維持する（九州）。

## 29年6月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		29/6月	7月	8月
生産動向	構造用(9mm)	12.5	0.0	0.0
	〃 (12mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (15mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (24mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (28mm)	12.5	0.0	△ 12.5
出荷動向	構造用(9mm)	0.0	12.5	△ 12.5
	〃 (12mm)	0.0	12.5	△ 12.5
	〃 (15mm)	0.0	12.5	△ 12.5
	〃 (24mm)	0.0	12.5	△ 12.5
	〃 (28mm)	0.0	12.5	△ 12.5
在庫動向	構造用(9mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (12mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (15mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (24mm)	12.5	0.0	△ 12.5
	〃 (28mm)	12.5	0.0	△ 12.5

・構造用合板の生産動向は、6月の増加から7月は横ばい、8月は減少に。

・出荷動向は、6月の横ばいから7月は増加、8月は減少に。

・在庫動向は、6月の増加が7月は横ばい、8月は減少に。

## (2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/6月	7月	8月
構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (12mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (15mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (24mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

・構造用合板の出荷価格動向は保合いで推移。

## モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・フル生産を継続中。出荷はおおむね堅調ながらも厚物は一服感あり（北海道）。
- ・少量生産に付き、変化なし（関東）。

(構造用合板の価格)

- ・構造用合板の出荷価格は、薄物から厚物まで変わらず（関東）。
- ・原木価格次第では、価格の見直しもあり得る。このまま様子見の状態（九州）。